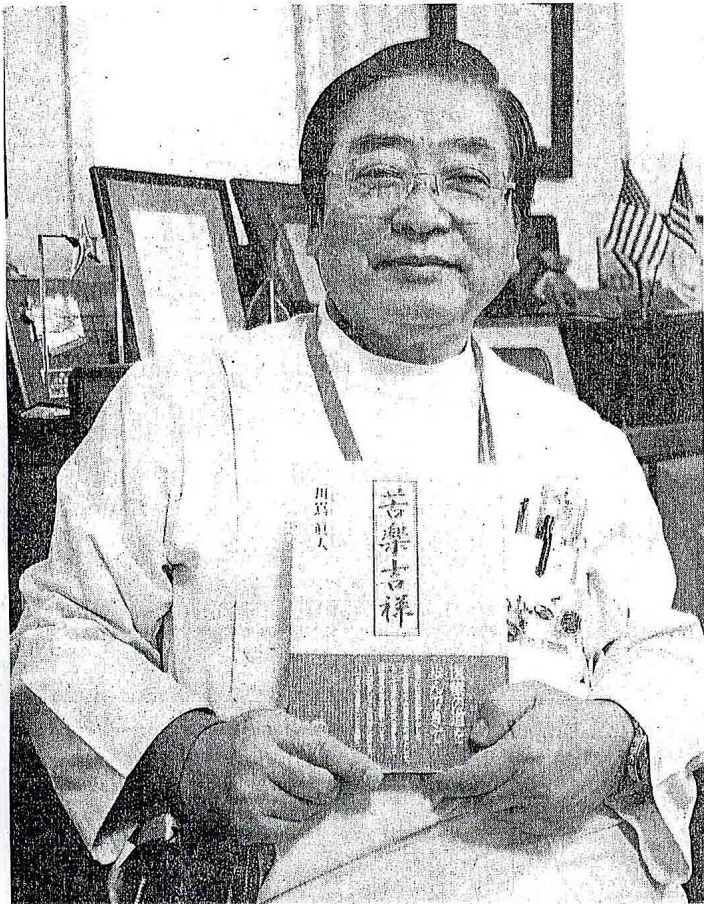


中津市 川島真人さん自叙伝を出版

チャレインジ人生 古希の節目

中津市宮夫の川島真人さん(69)が自叙伝「苦楽吉祥」(A5判、327ページ)を出版した。病院を新築し、古希を迎える節目の年に当たることなどから、エッセー風の文章で人生を振り返った。



自叙伝「苦楽吉祥」を出版した川島真人さん。中津市の川島整形外科病院

川島さんは中津市出身。

東京医科歯科大学医学部を卒業後、虎の門病院や九州労災病院で勤務し、1981年に開業した。難治骨髄炎治療の臨床研究で「川島式」と呼ばれる治療法を考案・実施した他、潜水病と骨壊死の研究、中津近郊の医学史研究などに従事。学会や地域での公職も多く、1999年に大分合同新聞文化賞も受賞している。

自叙伝は少年期から熟年期までの5章と、6章「夢達成期」で構成。1年がかりで日記などの古い資料を読み返し、写真を添えて詳細にまとめている。

タイトルの「苦楽吉祥」は仏教用語。「苦しみを越えねば楽しみや喜びを味わ

開業医、学会、国内外で活躍

えないし、幸福も長く続くとは限らない。だから常に謙虚な心構えを持たねばならない」という意味がある。「水滴は岩をも穿つ」と、地道に積み上げた半生の生き方を表している。

各種学会活動、講演、著書出版など国内外で活躍してきた。「開業医をしなごらいろんなことにチャレンジできた。指導者や先輩に導かれ、多くの友人や病院職員の協力に恵まれたと思う」と川島さん。

新病院は環境にも配慮した最新鋭の機材を備えている。旧病院は増改築して総合的な介護ケアセンターへと充実させる他、ミュージアムも整備する。「集めてきた資料や私たちの歩みを、多くの人に知ってほしい」と話している。

2500部を製本。1冊2315円(税抜き)。一般書店でも販売する。問い合わせは川島整形外科病院(☎0979・24・0464)。